

令和2年度学校評価報告書

令和3年（2021年）3月23日

北海道教育委員会教育長 様

北海道芽室高等学校長 印

次のとおり令和2年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- ・ 学習指導の充実により、学習に対する意欲・関心を育み、確かな学力の向上を図るとともに、自らの考えを的確に伝え他と共有する態度・能力を育成する。
- ・ 生徒理解を基盤とした生徒指導の充実により、規範意識や基本的生活習慣の定着を図るとともに、困難に負けない強い心と他を思いやる豊かな心を育成する。
- ・ 発達段階に応じた健康・安全指導の充実により、体力の向上を図るとともに、自他の健康安全を適切に守る態度を育成する。
- ・ 「部活動休養日等の完全実施」に向けて、部活動の指導・運営に係る体制を構築する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・授業形態や教材の工夫・改善を図り、自ら学び自ら考え、課題解決に主体的に取り組む資質・能力の育成について課題がある。	・授業の様子も良好であり、きちんとした指導がされている。家庭学習の習慣化については、家庭・地域にとっても課題である。
改善方策	・観点別学習状況の評価方法をはじめ、令和4年度に向けたシラバス等の整備を進めていく。	
生徒指導	・コロナ禍における「新しい学校の生活様式」に対応した生徒会行事の意義について改めて検討していく必要がある。	・部活動へ加入する生徒数が減少している点が気がりである。
改善方策	・生徒会行事や部活動を通して、生徒のより積極的な自主的活動や、元気で諦めず粘り強く社会に通用する生徒の育成を継続していく。	
進路指導	・進路指導担当者と各学年・各教科担当者がより一層の連携を深め、次年度の学年等への引継ぎをよりスムーズに効果的にしていく必要がある。	・進学率の減少と進路未決定者の増加について気になる点はあるが、今後も地域に求められる人材育成のため、キャリア教育の充実を図ってほしい。
改善方策	・キャリア教育の改善、進学講習及びより上級検定への挑戦や資格取得の取組の質を高めるよう、学校全体で実施していく。	
健康安全	・スクールカウンセリングについての相談体制を充実させることができた。	・薬物乱用防止や性に関する指導など健康安全教育については十分に達成されている。
改善方策	・地域の関係機関との連携を一層図るとともに、校内の情報交換も工夫改善を進める。	
組織運営	・地域の関係機関・保護者と連携したPTA活動について、コロナ禍においてどのような活動ができるか検討していく必要がある。	・感染症予防・拡大防止の取組の中、努力されている。
改善方策	・分掌・学年の連絡・働き方改革の観点からの業務管理の工夫改善を進める。	
公表方法	・本校ホームページに掲載 ・学校評議員会において提示・説明	

3 添付資料

- (1) 自己評価書
- (2) 外部アンケート結果
- (3) 自己評価・「成果と課題」および「改善の方策」についての学校評議員による評価